

あなたが差別・偏見の心をもたないために

学校に少しずつ通えるようになり、友だちと会えて楽しい時間が増えていると思います。ですが、友だちの話を聞いたりテレビやインターネットの情報を見たりして、不安に感じたり「違うのではないか」と感じたりしたことがあるのではないのでしょうか。どうすればいいか一緒に考えましょう。

◎こんな思い、あなたの心の中にはありませんか？



Q. 学校で友だちが咳をした
たら「コロナだ！」と
大声で言っている人が
いました。言っ
てはいけ
ないと思うの
ですが、ど
うしたらいい
ですか？



A. 咳をしたからと
言っ
てそれだけ
で新型コロナ
ウイルスに感
染している
とは言え
ません。そ
の言葉
を言われ
た友だ
ちはき
っと悲
し
か
つ
た
と
思
い
ま
す。勝
手
な
判
断
で
騒
ぐ
の
は
や
め
ま
し
よ
う。



Q. 友だちの親が勤めてい
る病院に、ウイルスに
感染している人が入院
しているんだって。その
友だち
に近づ
か
な
い
ほ
う
が
い
い
よ
と
言
う
人
が
い
る
け
ど
本
当
か
な
？



A. お医者さん、看護師さん等は、患者さんの命を救うために一生懸命働いています。感染しないように予防し健康管理もしています。頑張ってコロナウイルスに立ち向かっている人、その家族を偏見の目で見ることなく、そういう方々を応援し、自分ができることをしっかりやっていくことが大切です。



Q. ネットを見ていたら、
〇〇商店に感染した人
が行っているという書き
込みがありました。みんな
に知らせた方がいいで
すよね？



A. その情報は本当ですか？ その書き込みがデマだったら、あなたはその情報を知らせたことになります。また、知らせた情報によって悲しむ人がいたら、あなたは人を傷つけてしまうことになります。自分が発信したことでどうなるのかをよく考えてみましょう。

差別・偏見の心をもたないためには、正しい情報をもとに考えることが大切です。うわさ話やデマなどに振り回されず、落ち着いて考えましょう。そして、わからないことがあったら、友だちやお家の方、学校の先生など近くの大人に相談して、どう行動するのがよいか、一緒に考えていきましょう。

もしも、身近に話す人がいないときは、相談窓口も利用できます。(24時間 フリーダイヤル)

学校生活相談センター 電話 0120-0-78310 メール gakkosodan@pref.nagano.lg.jp